

◆ 今週のコメント

- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は、0.43(29例)で、第8週(0.34)に比べやや増加しています。全国は、0.77で、今シーズン初めて定点当たり報告数1.0を下回っています。全国のインフルエンザウイルス分離・検出状況(第1週から第9週)は、3月12日現在、AH1pdmが2,368件、AH3亜型が4件(すべて熊本県)、B型が21件となっており、今後、季節性インフルエンザの動向についても注意が必要です。
- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、7.68(315例)で、第5週以降、やや減少しているものの、過去5年平均値を上回る状態が続いています。
- ・ RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、0.20(8例)で、平成21年12月以降、過去5年間の平均値を大きく上回る状態が続いています。年齢階級別では、0～2歳で報告があり、1歳が37.5%(3例)と最も多くなっています。
なお、京都市衛生公害研究所ホームページに、「RSウイルス感染症について」の記事を掲載していますので、こちらも御覧ください。(http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000076939.html)

◆ 今週のトピックス: <流行性耳下腺炎>

定点当たり報告数は0.73(30例)で、本年では、第7週(0.80)に次いで多い報告数となっています。過去10年間(平成12年から平成21年)の推移をみると、数年おきに報告数が多くなっています。平成19年以降は、ほとんどの週で、定点当たり報告数が0.50以下の少ない状態が続いていましたが、本年の第4週以降は0.50を上回るやや多い状態が続いています。
詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・ 二類: 結核 4例(肺結核 3例, 肺外結核 なし, 無症状病原体保有者 1例), (喀痰塗抹陽性 3例)
【1月以降の累積報告数 31例(肺結核 20例, 肺外結核 6例, 無症状病原体保有者 5例), (喀痰塗抹陽性 10例)】
- ・ 五類: アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 5例】

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.43	29
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.68	315
	② 水痘	1.10	45
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.78	32
	④ 流行性耳下腺炎	0.73	30
	⑤ 手足口病	0.39	16
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

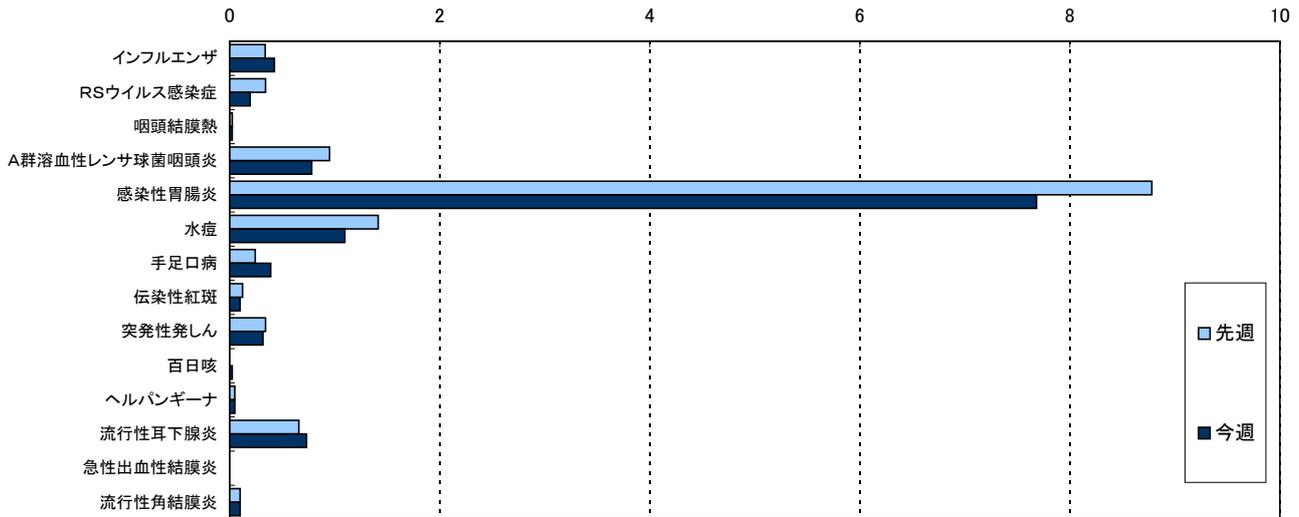
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <流行性耳下腺炎>

(注) 京都市のデータは、平成22年3月11日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。

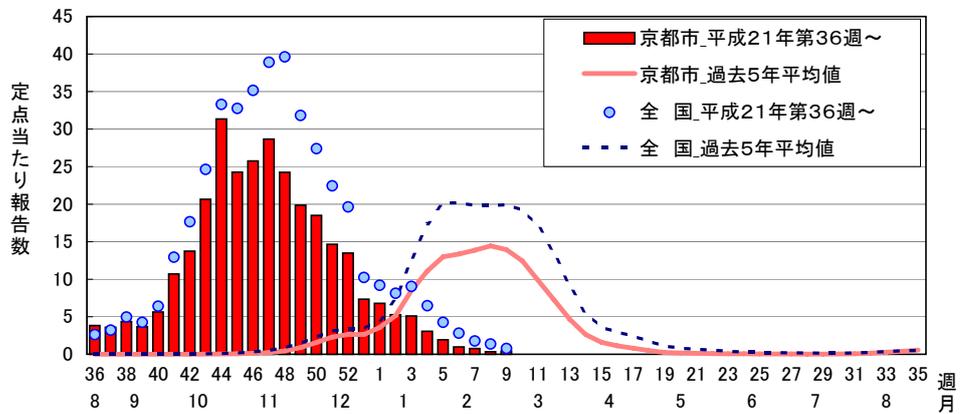
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第9週)と先週(第8週)の定点当たり報告数の比較



2 インフルエンザの推移

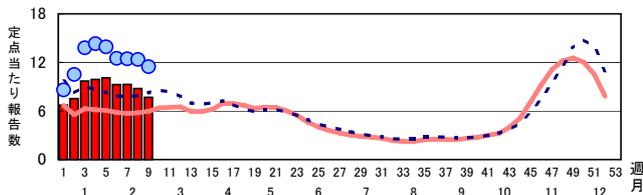
週	報告数(例)
第5週	131
第6週	66
第7週	52
第8週	23
第9週	29
累積報告数 (第36週以降)	20,327



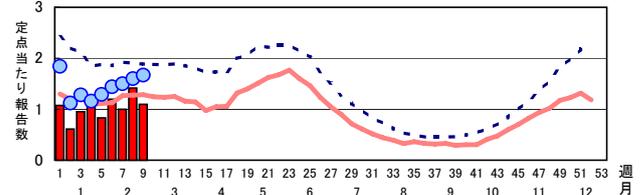
3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>

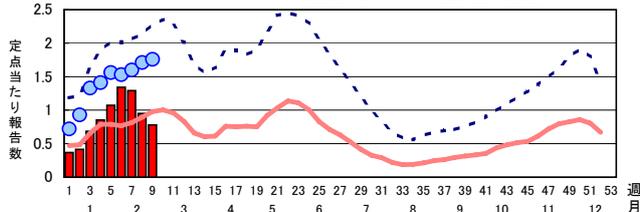
1 感染性胃腸炎



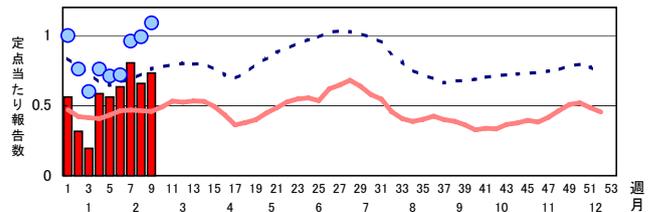
2 水痘



3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

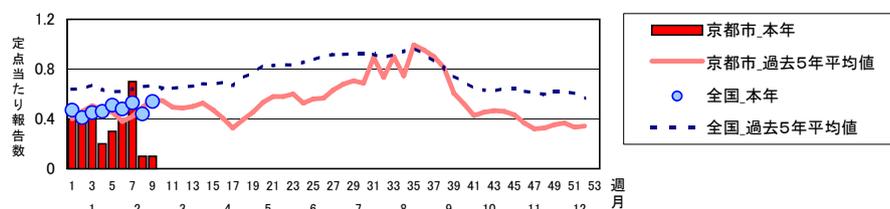


4 流行性耳下腺炎



<眼科定点>

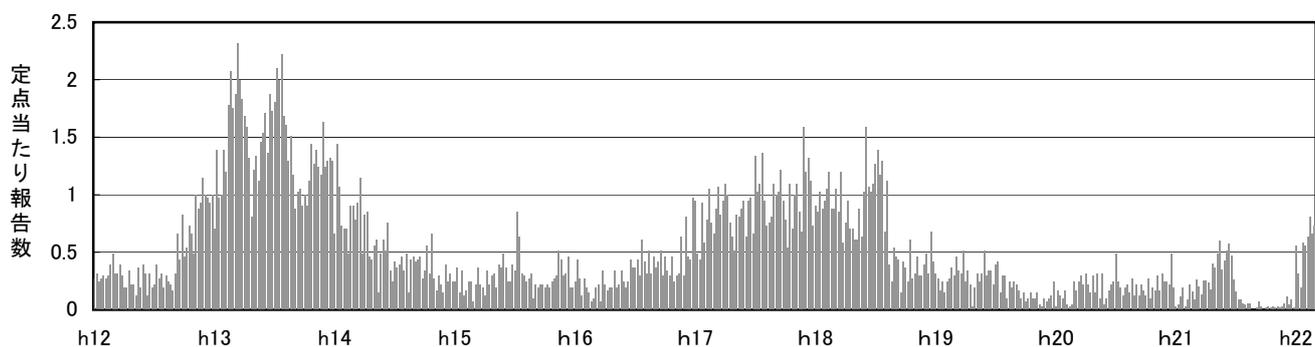
流行性角結膜炎



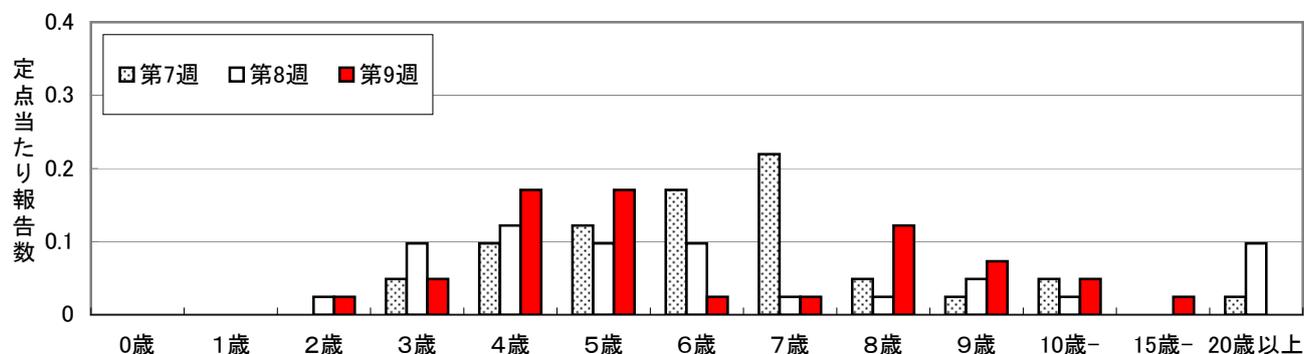
第9週(3月1日～3月7日)トピックス: <流行性耳下腺炎>

定点当たり報告数は0.73(30例)で、本年では、第7週(0.80)に次いで多い報告数となっています。
 過去10年間(平成12年から平成21年)の推移をみると、数年おきに報告数が多くなっています。平成19年以降は、ほとんどの週で、定点当たり報告数が0.50以下の少ない状態が続いていましたが、本年の第4週以降は0.50を上回るやや多い状態が続いていますので、今後の動向に御注意ください。
 年齢群別にみると、「4歳」及び「5歳」が7例(0.17)と最も多くなっています。
 行政区別にみると、伏見区が最も多く、次いで西京区となっています。

本市の過去10年間(平成12年から平成21年)及び本年の定点当たり報告数 推移



年齢階級別定点当たり報告数の推移



行政区別定点当たり報告数の推移

